

活動名：第12回福島空港公園杯少年フットサル大会

日程：平成30年10月13～14日

会場：福島空港公園 緑のスポーツエリア フットサルコート

クラス：T6年生、L1004、5年生 計8名

チーム名：FCAllez Lブルー

帯同：設楽コーチ

結果：12位/16チーム中

報告：設楽

#### リーグ戦

アーレ 0-4 川俣SSS

アーレ 1-6 常葉SSS

アーレ 2-0 猪苗代SSS

#### フレンドリートーナメント

アーレ 9-1 Allez T

アーレ 0-5 小野FC

アーレ 0-3 行健SSS

空港公園を管理運営している私の会社で開催しているこの大会ですが、第一回大会でアーレが初優勝飾り、もう12回目を迎えます。

今年は天候にも恵まれ、少し肌寒い気温でしたが、二日間県内各地から集まってくいただき、16チームで二日間、各チーム「優勝」を目指して戦いました。

この大会は6年生を中心に戦う大会で、アーレでは当初から6年生チームで出場してきましたが、ここ数年、参加チームが他大会などと重なり、集まらないことから、アーレとして今年は3チームで出場することになり、4年生や5年生も参加でき、他チームの上級生と戦うことができたとても恵まれた機会だったと思っています。

さて、私はトップクラスの6年生を中心にL100クラスの4、5年生で構成された「FCアーレ Lブルー」チームを率いて大会に挑みました。

初戦は今大会で準優勝した「川俣SSS」さんでした。相手はフィジカルも足元の技術も高く、非常に厳しい戦いとなり歯が立たずに完敗、続いて「常葉SSS」さんも体格の大きな選手もいて、フィジカル的にもドリブルなど抑えることが難しく、失点を多く重ね完敗。この二試合の敗退でほぼ決勝トーナメント進出の目標は絶たれ、最後の「猪苗代SSS」さんとの試合も負けることが心配されましたが、果敢に攻めて勝利することができました。

ブルーの選手たちは体格も小さく、フィジカルも低いメンバーだったので、フッ

トサル競技では自分たちを上回る体格のチームにはやはり負けてしまうものなので仕方がない結果だと思いました。しかし、みんな一生懸命あきらめずに相手のプレーにくらいつき、ドリブルで攻め込む場面も見られ、最後のシュートまでは行くプレーが所々で見られました。

残念だったのはしっかりとボールを蹴る、シュートをコースを狙って強く蹴る技術がみんな低かった点です。そのレベルからもなかなか得点を決めることができませんでした。

フットサルボールは硬く重いので、しっかりとボールを蹴ることができないと相手からボールを奪っても得点を決めることがなかなかできません。

そのような結果からも最終戦終了後には蹴る練習をすること、特に両足で蹴れることができないと試合でも効き足に持ちかえたりして時間がかかり相手に寄せられてシュートがしっかりとできないこと。弱いシュートはキーパーに止められてしまうこと、そんな技術が君たちには今必要であることを伝えました。また、アーレの練習以外でも家庭でボールに触ること、練習前や練習後も自主練などして蹴る技術を習得してほしいことを伝えました。

やはり、蹴る技術は反復練習で身につくため、自分で練習しないといけません。

その他、相手のドリブルに体を寄せる技術、相手シュートに対して、怖がらず、飛び込まず、シュートコースに入るプレーなども試合中に伝え、だんだんとできるようになってきましたが、チームの敗戦や個々の勝負で悔しい思いをしたと思います。これからの練習で今回の自分が足りなかったことができるように目標を持って頑張ってもらいたいと思います。

ダメなことだけでは無く素晴らしいと思ったことがありました。それは、試合前に自分たちで練習メニューを考え、真剣にアップをしている姿でした。みんなで仲良く二日間一緒にいる光景も味方のチームをベンチ脇で応援したりする姿が見られ、良い雰囲気で見られたことは感心しました。

二日目のフレンドリーでは不運にも初戦からアーレ同士の戦いになってしまい、勝敗を決めることが心苦しい戦いでしたが、両チームとも今持っている自分のプレーを精いっぱい出してくれて見ている人たちの心に響く試合をしてくれました。

その勝ち上がった後に「アーレT」チームのメンバー想いを背負ってトーナメント1位の「敢闘賞」をゲットする結果をしたかったのですが、次の「小野FC」さんや「行健SSS」さんに惜敗し、非常に悔しい思いをしたと思います。

全試合が終わり、みんながベンチに帰ってきた時に、私は悔しさのあまり「もっと練習しよう！」と声をかけました。その言葉の意味は「練習をもっともっとすればこんなレベルではなく、技術が向上する可能性がある子たち」だと非常に思った

からです。

この二日間の中で子供達に聞いてみましたが、アーレの練習だけで満足しては上手にならない、練習以外でボールにしっかり触っている子がどれだけいるのか？・・・ほとんどの子が平日にサッカーボールを触ることができない環境であるといったことでした。それでは、なかなか上達しないと感じました。

平日の特練に出ている子、出していない子でも差が出ているように感じています。

昔は放課後の遊びでサッカー、一人で公園に遊びに行ってサッカー、旅行に行ってもサッカーボールを持って行きちょっとした時間に触っていた・・・こんなサッカーボールが身近にある環境が上達する習慣でしたが、各家庭の住んでいる環境やサッカーへの思いが無いと上達なんてこの次であり、仕方がないと思います。

ボールに多く触ることができれば自然と上達しサッカーももっと楽しくなると思います。サッカー(フットサル)は団体スポーツなので、今回のメンバーの中には練習をいっぱいして技術がそれなりにある子もいましたが、一人で頑張ってもチームの結果がついてこないのが納得はいかなかったと思います。

そのようなことから優勝した「アーレLグリーン」チームメンバーは、自主練や特練なども多く参加し、個々の技術としてリフティング回数も多いメンバー構成だったので、そのような結果が出たと思います。試合を重ねるごとにさらにチームワークも育まれ、見事優勝してくれました。素晴らしい結果だと思います。

サッカーの技術の話が優先しましたが、私が指揮をとった「Lブルー」チームの6年生たちは最後まであきらめずに戦い、後輩たちにその背中を見せ、試合の間や最中はみんなと仲良く良い雰囲気を作ってくれていて、私は大変嬉しく思いました。

「T」チームは4～5年生が中心のチームだったのでなかなか勝利することができませんでしたが、試合の途中ではあきらめる姿を見せずに果敢に相手に向かっていくプレーは頼もしく感じました。

保護者の方々は今大会も赤いチームカラーの「アーレマフラー」を身に着け、子供達をコート脇から温かく見守り応援してくださり、この二日間有難うございました。また、準備や運営、片付けもお手伝いいただきご協力に感謝いたします。

出場したアーレ3チームがそれぞれ勝っても負けてもそれは結果であり、やはり子供たちが一生懸命に戦っている姿や緊張している姿、試合後に満足した表情、友達とじゃれあい笑い、楽しんでいる姿を見ることが子供たちの健やかな成長を感じられる幸せな時間だと思います。私たちコーチ陣もそんな親子の姿を身近にみられる微笑ましい二日間でした。

未来を担う子供たちのために、私たちコーチ陣も今まで以上に頑張っていきますので、保護者の方々も引き続き子供たちの応援とアーレへのご理解、ご協力を宜し

くお願いいたします。

最後に参加して下さったチームの方々、選手や指導者へ感謝します。また、来年もご参加を宜しくお願いいたします。

コーチ 設楽







